

②ー1 新たな拠点形成（うめきた地区）

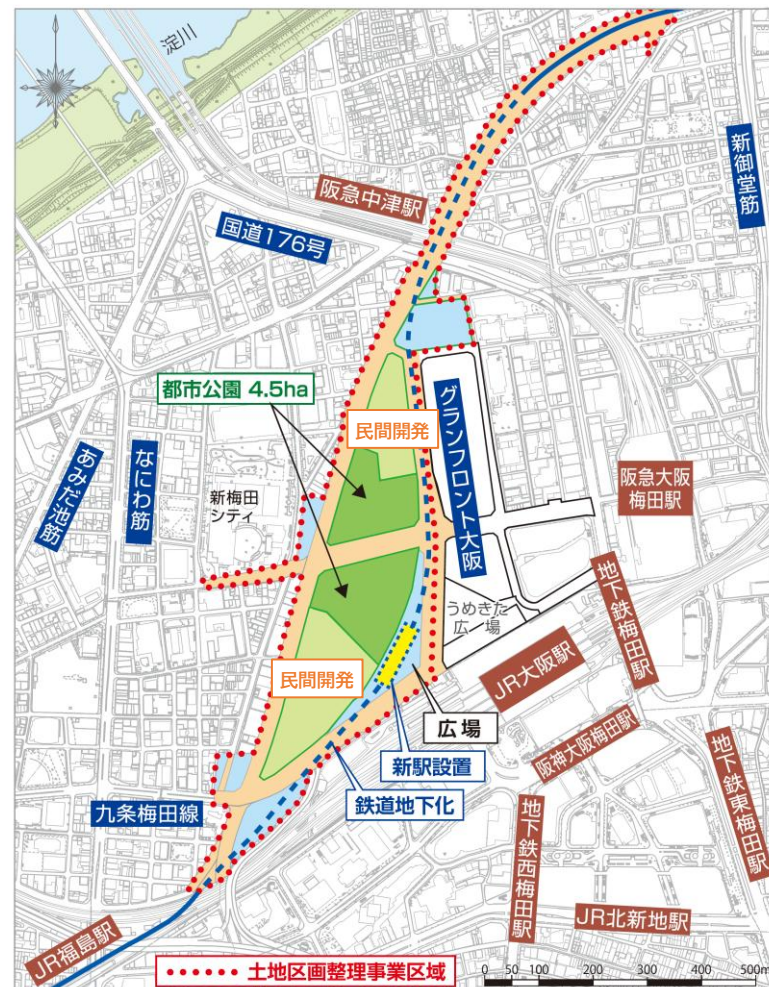
JR大阪駅北側に広がる約24haのエリア（国鉄貨物ヤード跡地）

うめきた2期



うめきた1期（先行開発区域）

平成25年4月 グランフロント大阪オープン
来場者は10年間で4.7億人以上



②ー1 新たな拠点形成（うめきた地区）

うめきた2期区域 まちづくりの目標 『「みどり」と「イノベーション」の融合拠点』

令和9年度 全体まちびらき予定



グラングリーン大阪開発事業者提供

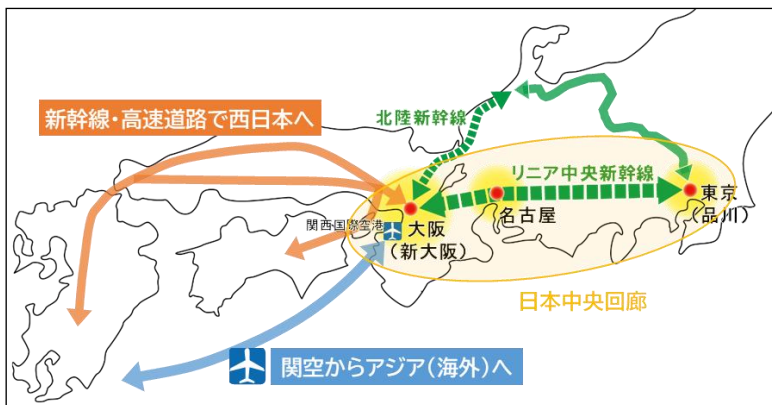
令和6年9月 先行まちびらき
来場者は半年間で1,000万人以上

○主な取り組み

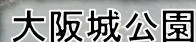
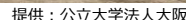
- うめきた新駅設置事業・JR東海道線支線地下化事業
- 大阪駅北大深西地区土地区画整理事業
- 大深町地区防災公園街区整備事業など

②ー2 新たな拠点形成（新大阪・十三・淡路）

リニア中央新幹線の全線開業による日本中央回廊の形成などを見据え、世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりの実現をめざす



大阪公立大学森之宮（１期）キャンパス（R7.9開設）



森之宮周辺

大阪ビジネスパーク駅周辺



大阪京橋駅周辺

②ー4 新たな拠点形成（夢洲第2期区域開発）

万博のレガシーを継承し、その広大な土地を活かして、エンターテインメントやレクリエーション機能などの導入を図り、夢洲でしか体験できない「非日常」の空間を提供することで、世界に類を見ない国際観光拠点の形成に向けたまちづくりを推進

■ 夢洲地区



■ 夢洲まちづくり基本方針



【第1期(70ha)】

統合型リゾート(IR)を中心としたまちづくり

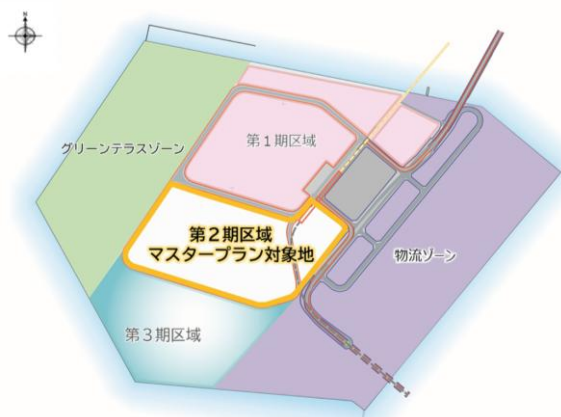
【第2期(60ha)】

万博の理念を継承したまちづくり

【第3期(40ha)】

第1・2期の取り組みを活かした長期滞在型のまちづくり

■ 夢洲第2期区域マスタープラン



コンセプト

万博の理念を継承し、国際観光拠点形成を通じて「未来社会」を実現するまちづくり

まちづくり方針

- ① エンターテインメントシティの創造
- ② SDGs 未来都市の実現
- ③ 最先端技術の実証・実践・実装